

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 しごと じつげん ゆめ
 サメの研究者

その仕事や夢を選んだ理由 しごと ゆめ えら りゆう
 サメの面白さをみんなに伝えたいから

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう しごと ゆめ じつげん ひつよう じょうけん しかく ちから かね

生物や数学の知識、語学力、体力、学費、研究費

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳 小学校	サメの基礎知識を学ぶ、 分からないことを追求する好奇心を身につける
13歳 中学校	理数系の知識を深める
15歳 中学校	語学力の向上、体力づくり
16歳 高校	生物学を学ぶ
18歳 高校	研究論文を読む
19歳 大学	海洋生物学が学べる大学に進学
5歳 大学	サメの研究開始
24歳	論文を書く
25歳 社会人	研究者の活動開始
?	
?	
?	

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと しごと いがい おとな じつげん

・"ジンベエサメと泳ぐ" ・サメを飼う

サメ研究者への道

筑波大学附属小学校 五年 植田 悠司

ぼくはサメが大好きだ。五才のときに水族館でシムロクザメを見たことがきっかけで、そのハンマーのような独特な頭の形が格好良いと感じ、それ以来、サメに興味をもった。そして、将来の夢はサメ研究者になることだ。

今、ぼくは全国の水族館や漁港をまわったり、「サメサメ倶楽部」というサメ好きが集まる団体に入り、サメについて話し合ったり、実物のサメを観察したりしている。

小学校一年生の夏、コロナ禍で外出が難しくなったとき、沖繩美ら海水族館のサメ博士である佐藤圭一先生がサメについてのオンライン授業をしてくれた。その授業に参加して、サメの研究に強い興味を持った。佐藤博士はサメの世界の奥深さと、好奇心が研究の重要な原動力になることを教えてくれた。そして、サメについてはまだ解明されていないことが多く、そのなぞを解き明かしたいと思った。

多くの人はサメに対して、怖いというイメージを持っているが、五百種類以上のサメがいる中で、人をおそうサメは十種類程度しかない。サメにはそれぞれユニークな特ちょうがあり、それがサメの魅力だと思う。

例えば、フジクジラという深海に生息するサメは、二つの面白さがあると思う。一つ目は、サメなのに「クジラ」という名前が付いていること、二つ目は、体にある発光器を光らせることで日光にまぎれて身を隠すことだ。このようにサメには、一つ一つに面白い特ちょうがあり、ぼくは「面白さがないサメなんていないのではないか」と思っている。

サメ研究の中でも、ぼくは分類学を研究したい。サメの三分の一の種類が絶命危惧種になっている今、分類学を研究し、サメのことを多くの人に知ってもらおうことで、絶滅危機にあるサメたちを守ることもできるのではないかと、また、分類す

ることで、生物の進化の過程が分かるかもしれないと考えている。

サメ研究者になるためには、海洋生物学を学べる大学に進む必要がある。東京大学やスタンフォード大学には、海洋生物学の研究機関があり、そこに進学することがぼくの最初の目標だ。そのために、今から基礎知識をしっかり身につけ、語学力も向上させたいと思う。しかし、佐藤博士の本によれば、サメに関する新しい発見は、他分野の専門家によって解明されることも多く、専門分野に限らない幅広い知識や経験が大切だということだ。だから、ぼくもサメ以外の分野にも興味を持ち、様々な経験を積んで、色々な考えを持てるようになりたい。

ぼくが将来、サメ研究者になったら、サメのまだ解明されていない暗闇を明るく照らすような研究がしたい。何億年も前から生きてきた地球の先輩であるサメから、人類が学ぶことは多いはずだ。ぼくは研究をすることで、まだ知られていないサメの面白さと魅力を、たくさんの人に伝えていきたい。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。